

令和3年度碧南市藤井達吉現代美術館協議会 会議録（公表・要約）（敬称略）

1 日時

令和4年3月28日（月）午後1時30分～午後3時

2 場所

碧南市役所2F談話室1・2

3 出席者及び欠席者

- (1)出席委員 平岩統一郎、鈴木並生、菅沼正則、浅井久夫、永坂幸子、永坂龍哉、金原宏行、吉田俊英、江本菜穂子、立花明德
- (2)事務局職員 生田弘幸、岡崎康浩、木本文平、松野盛高、
豆田誠路、宮脇麻里、大野俊治、岩月真由子、日置樹也、中島未紗

4 傍聴者 0人

5 あいさつ

6 議題

- (1) 美術館運営方針及び事業概要について
- (2) 令和3年度活動状況について
- (3) 令和4年度活動計画について
- (4) 令和5年度以降の企画展について（予定）
- (5) 美術館収蔵庫増設・改修事業について
- (6) 令和3年度第1回、第2回收集部会の結果について（非公開）

7 会議内容

1 あいさつ(会長)

本日は、大変お忙しい中、またコロナ禍の状況の中、委員のみなさまには、美術館協議会にご出席いただき、誠にありがとうございます。先日愛知県まん延防止等重点措置が解除されましたが、まだコロナは落ち着いておらず、引き続き感染対策に気を付けていかなければいけませんね。さてお話によりますと、今年度9月から始まった収蔵庫等増設改修工事は、概ね順調に進んでおり、このまま工事が進めば、休館から約3年後の令和5年春頃にリニューアルオープンする見込みと伺っております。これまで当美術館は、77万人を超える観覧者数を数えており、基本理念に掲げる「大浜まちづくりの拠点施設」という役割を十分果たされてきたのではないかと考えております。工事が無事に終わり、収蔵庫が増設されることで、ハード面の整備に加え、さらなるコレクションの充実を図り、魅力ある企画展を一日も早く開催し、ソフト面の充実による、まちの活性化につなげていただきたいと思います。本日は、委員の皆様には、当館の活動状況や、今後の計画などにつきまして忌憚のないご意見を頂

戴し、当館の発展にお力添えをいただきますことをお願い申し上げまして、開会のご挨拶といたします。

2 議題

(1) 美術館運営方針及び事業概要について

議 長＝事務局に説明を求める。

事務局A＝美術館運営方針及び事業概要を説明。

(2) 令和3年度活動状況について

議 長＝事務局に説明を求める。

館 長＝教育普及、保存、調査研究など活動状況を説明。

議 長＝議題について委員の皆様よりご質問、ご意見等ございますか。

委 員B＝資料12頁にあります害虫獣防除作業、対象がゴキブリ、ハエ、ネズミ等
なっていますが、通常美術館にネズミなどは発生するものなんでしょうか。

館 長＝通常美術館でネズミが発生することはほとんどありません。しかし、当館
の場合1階に喫茶コーナーを設けております。そこで飲食物を扱います
ので、調査の対象に加えております。ネズミもゴキブリ等と同様に美術品
や環境に影響を与えますので、注意しています。ちなみに開館以来、現在
までネズミの発生は確認しておりません。

委 員C＝美術館活動、休館中の限られた中でよくやられているかと思います。教育
普及活動の充実に加え、細かなところも配慮されています。まだ休館はし
ばらく続きますが引き続き頑張ってくださいですね。

委 員D＝今回初めて委員を務めさせていただき、活動を拝見させていただいてお
ります。美術館は休館中ですが、美術館博物館は作品を展示するだけでな
く、普及活動や保存管理なども重要な役割です。そちらも堅実にやられて

おり、素晴らしいことだと思います。

議 長＝普及活動は学校との連携、出前講座など様々やられていますね。今後もアイデアがありましたらぜひ形にさせていただきたいです。先ほども言いましたが、今は工事によりハード面の整備を進めていますが引き続きソフト面の充実にも取り組んでいただきたいと思いますね。

(3) 令和4年度活動計画について

議 長＝事務局に説明を求める。

館 長＝企画展、共催展、教育普及、保存、調査研究など活動計画を説明。

議 長＝委員の皆様よりご質問、ご意見等ございますか。

委 員E＝現在も他の美術館との関わり、連携を精力的にやられているだろうと思います。令和3年度分はご報告いただきましたが、館として、トータルで他館への貸出可能な作品数や作品の貸出頻度などはいかがでしょうか。令和4年度は工事などもあるでしょうが、碧南の美術館として盛んにやられていますでしょうか。

館 長＝ご質問ありがとうございます。作品の貸出頻度ですが、まだそれほど多くはありません。借りる側からすれば、やはり名品を借りたいという思いがありますし、その点からすれば当館のコレクションは所謂しぶいものが多くあります。今後研究を進めていくべきものや注目されるだろう分野であることに加え、コレクション形成の道半ばでもあります。今後に期待いただきたいと思います。藤井達吉作品に関しては、当館に要望が届きます。報告にありました豊田市の小原和紙美術館からも当館が所蔵する藤井達吉の良いものを貸してほしい、との声がありました。令和4年度は工事等の関係もあり難しいですが、藤井達吉作品や当館のコレクションを引き続き積極的にアピールしていきたいと思います。

議 長＝そのほかご質問などございますか。

(4) 令和5年度以降の企画展について（予定）

- 議 長＝事務局に説明を求める。
- 館 長＝企画展の活動計画を説明。
- 館 長＝令和 5 年度以降の予算は確定されておらず、まだ先の話と思われる方もいらっしゃると思います。しかしながら予算が確定してから動き出しては間に合わず、美術館の企画は 2 年、3 年掛けて調整、構成します。昨今のコロナ禍の状況によって、海外から作品をお借りする、大規模な展覧会を行うということが難しくなっています。そうしますと国内の所蔵作品による企画が当然増えます。通常では 2 年、3 年かけて企画調整していたものが 4 年、5 年先まで視野にいれないと企画や作品を借りることができない、という状況にもなっています。そうした状況も踏まえて計画及び調整を進めています。
- 議 長＝清澤満之の展覧会ですが、彼は西方寺とゆかりの深い方です。西方寺と連携などは計画されていますか。
- 館 長＝西方寺さんからは全面的な協力をいただいております。清澤満之は仏教哲学、東洋哲学の分野における明治期を代表する哲学者であります。彼は東京帝国大学でフェノロサのヘーゲル哲学の授業を受けています。その内容をまとめた手記があり、現在法政大学や大谷大学が研究を進めています。そうした研究も視野にいれながら、展覧会を構成したいと考えています。こちらも西方寺さんにご協力いただきながら展覧会に向けた調査を進めています。
- 議 長＝無我苑名誉館長である梅原猛氏も感銘を受けておりましたね。
- 館 長＝おっしゃる通り、清澤満之は近代哲学分野において非常に大きな影響を与えた人物です。しかしながら、碧南とのゆかりは全国的にはあまり広く知られておりません。この点からも碧南で取り上げるべきことだと考えています。
- 議 長＝リニューアル記念展のタイトルである「碧い海の宝箱」ですが、意味やコンセプトを詳しくお聞きしたいですね。

館 長＝碧南の美術館が、この碧海という地域に根ざした美術館であること、そして当館の核である藤井達吉がしばしば海をテーマに制作していることを関連付けています。また美術館のコレクションは市の宝物であります。これらを広くアピールしたいという思いもあります。

議 長＝藤井さんは道場山や吉良の宮崎海岸、関東の真鶴など海の近くにすんでおりましたよね。小原での足跡も知られておりますが、海もお好きだったのですか。

館 長＝真鶴ですと昭和10年から昭和20年まで住んでおりました。昭和天皇第一皇女・照宮成子内親王御成婚の折に作品制作の依頼があり、この地で制作をしておりました。加えて洋画家藤島武二が作品を納めた際のエピソードにも影響を受けたといいます。また中央の美術界から離れたい、という思いもあったようですね。そして議長のおっしゃられた通り、道場山や吉良の宮崎海岸にもおられた。こうした点からみてもやはり海とのつながりは大きいでしょう。

議 長＝「美術と風土」や「須田国太郎展」についてはいかがでしょう。

館 長＝この企画はきょうと視覚文化振興財団から助成を得て行う計画を立てています。近代に活躍した洋画家須田国太郎の生誕記念の企画です。今まであまり公開されてこなかった写真資料等も展示紹介し、改めて作家を顕彰するものです。そして「美術と風土」は、現代の作家、作品による企画です。美術の動向は関東、東京が中心になっていますが、それだけにとどまることなく、全国、特に中京から西の作家にも焦点を当てていこう、というものになります。

委 員F＝いままであまり研究されてこなかったところへの挑戦になるでしょうね。調査を進めて、充実した作品を集められれば、良い展覧会になるかと思えます。

(5) 美術館収蔵庫等増設・改修事業について

議 長＝事務局に説明を求める。

事務局A＝収蔵庫等増設、美術館改修事業等について説明。

議 長＝委員の皆様よりご質問、ご意見等ございますか。

委 員G＝碧南市では、災害時の避難所開設のためのファーストミッションボックスを避難所に設置し、だれでも協力して避難所開設が迅速に行えるよう取り組んでいます。美術館のそういった活用や、そもそも対象とできるのか、お聞きしたいです。

館 長＝大浜地区で美術館は高さのある建物でしょう。特に津波があった場合、2階のスペースを緊急避難場所として活用いただければと思います。

事務局A＝現時点の該当地域の避難場所は大浜公民館になります。津波の際はまず垂直避難が重要ですから、美術館を利用できるかと思います。その後の長期的な避難となりますと、市指定の避難場所である大浜公民館を利用しただいた方がよいでしょう。

議 長＝建築資材の高騰や資材が手に入りにくいという状況がありますが、工期への影響はいかがですか。

事務局A＝建材の納期が遅れる可能性が考えられていますが、現在のところ工期の遅れはございません。価格の高騰についても、大きな影響は確認されておりませんが、建築部局との連携を密にし、適宜計算を行い、調整していく予定です。

(6) 令和3年度第1回、第2回収集部会の結果について（非公開）